

●大友夫見子さんから…93.2.11…カルカタ発

◆ナマステ。長年の夢、Mother Teresa にお会いすることができました。入社時の面接用紙、尊敬する人の欄に彼女の名前を書いて以来、いつか逢おうと決め、昨年の重態説ではハラハラしました。念ずれば通ず。お話することもできました。◆インドは不可解な国ですが、楽しんでいます。高所得者(?)の私も30ルピーのドミトリーにいます。

●大友夫見子さんから…93.2.22…公立S病院隔離病棟発

◆カルカタからの便りは届きましたでしょうか。◆マザー・テレサに4回も逢えた、と喜んだのも束の間、今、隔離病棟に赤痢で入院というか、強制収容されています。はじめの3日間は、3度、3度ご飯も食べれて、好きなだけ眠れるなんて、と喜んでいましたが、もう飽きてしまいました。◆カルカタでは、朝夕6時に行われる、マザーズハウスでのミサに、クリスチャンでもないのにこのこと出かけ、午前中

は孤児院で子供達(といっても0才から3才が主ですが)の世話をし、午後は重度の病気の老人のお世話をしていました。偽善的ではありますが、マザー・テレサに会うのが夢で、ただ会うだけでは気が引けますし…、と思いついたのですが、実際行ってみると、何かせすにはいられない状況でした。他にも日本人が何人かボランティアに訪れていましたが、長い人は1年近くもいるということです。◆幸い(?)私は仕事もあり、病身の母もいるので1年ボランティアはできませんが、果たして1年やる必要があるのか疑問でした。言葉は悪いですが“テメーラ、日本で他にやることないの?”みたいな気持ちでした。中には素晴らしい人もたくさんいましたが、私には現実逃避に思える人も多々見受けられました。◆と、偉そうに書いていますが、私が日本で何ができるかということも疑問です。と、能書きばかり書いてまいりましたが、赤痢で隔離されているはお話になりませんので、解放されてからじっくり考えたいと思っております。

●菅原やすのりさんから…

日頃地球線通信とお送り下さり有難うございます。地球に生きる一人一人に個性あり、それを水の生き方より方々有りませぬ様々な意見が出る事は素晴らしい事だと思っております。また素晴らしい事はお互いの相違を認め合いつつ、協力し、助け合う方法と具体的な事柄と共有、共生しをゆく事は思ひませぬ。地球線通信はまさにその縮図だと思ひませぬ。力のある人、逆境にいらる人、いと耐えよる活物時期を迎えたる人…色々の立場の人が共生出来るよう願ひませぬ。月一回の通信

と読んで下さる方が、さうして皆々の活動と喜びに…人肉…なる事由大抵にして下…小生は三月末に南極に向ひませぬ。自分等に地球の中を頑張る…船の結りをゆけるよう努力を…ゆくり有りませぬ。地球に生きる…そんな気持ちです。は人の僅かです。記念切手が本も…有りませぬ。地球線通信に使用して下さい。

一九九三年二月十九日

菅原やすのり